

不登校、ひきこもり、貧困、虐待など、現代の子ども・若者が抱える問題は深刻化かつ複雑化しており、その課題に対応するためには、複合的かつ多様な支援による共助機能の充実が必要です。

子ども・若者育成団体・支援者等が持つそれぞれの糸をいくつもの方向から絡めあい、支援という網を、さらに細かく、強い網にして、子ども・若者たちが網の目からすり抜けて孤立してしまうことがないように、複合的支援活動を推進していかなければなりません。

この地域の孤立0(ゼロ)の取り組みの全県的な波及と支援活動の発展を図ることを目的として、以下の事業を展開しました。(この他、前頁の推進大会では事業報告とパネルディスカッションを行いました。)

1 モデル事業

子ども・若者が抱える多様かつ複雑化した問題において、「地域を編む孤立0(ゼロ)プロジェクト」事業の趣旨に沿った活動に取り組む団体、活動を公募し、補助金の交付、アドバイザー派遣等による支援を行いました。

(1) 夢100プロジェクト(下妻市)

- 事業名 たかさい地域コミュニティスペース開設事業
- 目的 下妻市立高道祖(たかさい)小学校の近隣にある空き家を活用して、断絶している世代間交流を復活させるために、高道祖地区の子どもと地域の大人とがゆるやかに交流できるコミュニティスペース開設する。
- 内容
 - ①空き家の除草作業 清掃活動
 - ②みんなで遊ぼう会! 学ぼう会! 2019 vol.2
令和元年11月30日 18名参加 アナログボードゲーム遊び
 - ③味噌造り体験
令和2年2月15日 36名参加 地域の方と味噌造り体験



(2) 特定非営利活動法人SMSC(稲敷市)

- 事業名 まちキッチン「あえる」によるセーフティネット拡充施策
- 目的 コミュニティ形成と自活力向上により孤食・欠食をなくす。
- 内容 えどさき笑遊館、新利根地区センターで、子どもたちと地域の大人たちが一緒に調理し、一緒に食べるまちキッチン「あえる」を開催。(8/10、9/14、10/18、11/9、12/28)
1回当たり子どもの参加は約20名、市ボランティア連絡協議会、市PTA連絡協議会、市主任児童委員などから約10名のボランティアにご参加いただいた。



2 合同研修会

- (1) 趣旨 困難を抱える子ども・若者に係る諸問題に対する複合的支援活動を推進するため、関係機関・団体等が知見を広げ、課題や情報の共有・展開を図ることを目的に合同研修会を開催する。
- (2) 主催 公益社団法人茨城県青少年育成協会
- (3) 共催 青少年育成市町村民会議 茨城県PTA連絡協議会
茨城県青少年相談員連絡協議会 茨城県生涯学習・社会教育研究会
- (4) 日時 令和元年8月27日(火) 13:00～16:00
- (5) 会場 茨城県立青少年会館(水戸市緑町1-1-18)
- (6) 内容
 - ①オープニング
 - ②活動実践者発表
 - ひきこもり・不登校
発表者 ひきこもり大学茨城キャンパス(ひたちなか市)
 - 子どもの貧困
発表者 まちキッチン「あえる」普及委員会(稲敷市)
 - 子ども・若者の居場所づくり
発表者 特定非営利活動法人 華の幹(つくば市)
 - ③分科会
 - ④全体会
 - 分科会まとめ発表
 - 講評:茨城県生涯学習・社会教育研究会 長谷川 幸介 会長

